

# 議長の不信任決議を賛成少数で否決

6月19日、横井敏夫議長の不信任決議が提出されました。6月24日の本会議で当事者である横井敏夫議長が議場から退場し、質疑、討論の後、採決が行われ、賛成10、反対14の賛成少数で否決しました。

## 決議案

議長の権限の中には、議場の秩序保持権がある。いわゆる、議場を混乱させることなく議事を円滑に運営するよう配慮することが議長の職責である。

しかるに横井敏夫議長には、上記の様な資質があまりにも欠如している。よってここに、横井敏夫議長の不信任決議を提出するものである。  
あま市議会議員

松下昭憲  
八島 進  
横井正秀  
松浦茂昌  
水谷康治  
新間賢治

## 主な質疑

**問** これまでに、議事が円滑に運営されなかったことはあるか。

**松下昭憲** 今回が初めてではあるが、大変重要なことである。

**問** 議場外での議事整理まで求めるものなのか。  
**松下昭憲** 議長職は、本会議だけでなく、一般的な議会のまとめ役である。

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**藤井定彦** あま市議会は会派制をとっており、横井議長は各派代表での話し合いの場を設けて、よりよい議会をつくれるよう努力した。

自分の意見に沿ったものでなければ、他の議員まで同調させ、何回も議長不信任決議を出すような事態が二度と起こらないよう切に願い、反対する。

**加藤正** 議長は就任後、円滑な議会運営に心がけ、議員各位が持てる力を十分に発揮できるように配慮し、市の発展と市民の

福祉向上のために誠心誠意職務を遂行している。本来議長の責務は、提出された議案を中立かつ公平な立場で判断し、民主的に議会運営を行うものであり、今回のケースも同様に行われたものと判断し、反対する。

**石田良雄** 議長は議会の活性化を図るため、議員の協議体をつくることを何度も提案している。

会派制度をとっているあま市議会において、発議に対する議員間の調整は、各会派間で行うべきであり、議長に調整を委ねるものではない。議長職の中立性と尊厳を保つためにも、議長にそのような行為を求めることは、議長の地位をないがしろにすると考え、反対する。

### 【賛成討論】

**野中幸夫** 議員定数の削減は、議会に関する問題であるので、全員協議会を開催する必要がある。冒頭で、議長に全員協議会の開催を提案したが、否定された。

今回の対応は、議会の地位を低めてしまうものであり、不信任に相当すると考え、賛成する。

**八島進** 議員定数の削減案に対し、全員協議会を開催せず、他の議員を無視するような行為は、数の力によって議会が運営されていく恐れがある。今回の結果は、議長の調整資質が問われる。今後の議会のことも含め、賛成する。

## 採決結果

賛成少数により、原案否決。